



日本実験動物技術者協会 東海支部会報

2006 年 2 号 (通算 26 号)

目次

1. 開催のご案内

- (1) 第 33 回日本実験動物技術者協会東海支部総会 2
- (2) 第 41 回日本実験動物技術者協会総会 2

2. 報告事項

- (1) 実験動物実技講習会 3
- (2) 平成 18 年度第 3 回東海支部役員会・第 41 回総会実行委員会 . . 3
- (3) 平成 18 年度第 4 回東海支部役員会・第 41 回総会実行委員会 . . 3
- (4) 平成 18 年度第 5 回東海支部役員会・第 41 回総会実行委員会 . . 4
- (5) 第 11 回技術交流会 4
- (6) 平成 18 年度第 6 回東海支部役員会・第 41 回総会実行委員会 . . 6

3. その他

- (1) 賛助企業紹介 6
- (2) 東海支部ホームページの案内 6

1. 開催のご案内

(1) 第 33 回日本実験動物技術者協会東海支部総会

日時：平成 19 年 4 月 21 日（土） 13:15～17:20

会場：名古屋大学医学部基礎医学研究棟会議室

（詳細 <http://www.med.nagoya-u.ac.jp/medical/101/m10109.html>）

参加費：会員：無料 非会員：1,000円

懇親会：3,000円

<総会議題> 13:15～13:50

- ① 平成18年度事業報告及び決算報告
- ② 会計監査報告
- ③ 平成19年度事業計画及び予算案
- ④ その他

<特別講演> 14:00～15:00

「SHRラットについて」

土倉 覚 先生 （SHR等疾患モデル共同研究会）

<シンポジウム> 15:00～17:20

『こんな殺菌・消毒・洗浄剤知ってますか！？』

- ・ 弱酸性殺菌水（高塚ライフサイエンス（株））
- ・ 殺菌洗浄剤（エコラボ（株））
- ・ 洗浄剤（クリーンケミカル（株））
- ・ プラズマオゾン紫外線空気清浄機（殺菌・脱臭）
（シーバスリミテッド）

出欠の有無を同封のはがきに必要事項をご記入の上、**4月11日**までに支部事務局まで必ず返送してください。なお PDF 版の会員の皆様には別途往復はがきにて送付いたしますので返信用はがきに必要事項をご記入の上、支部事務局まで返送してください。非会員の方で参加希望の方は支部事務局まで e-mail, TEL, FAX にてお申し込みください。

(2) 第 41 回日本実験動物技術者協会総会

日時：平成 19 年 7 月 6 日（金）～7 日（土）

会場：名古屋市中心企業振興会館（吹上ホール）

詳細は第41回日本実験動物技術者協会総会ホームページにて案内しています。参加登録もホームページより行ってください。

2. 報告事項

（1）平成18年度実験動物実技講習会

日時：平成18年10月21日（土） 10:00～17:00

場所：名古屋大学大学院医学系研究科附属医学教育研究支援
センター・実験動物部門

参加人数：16名

講師：藤田 芳顕 先生（日本エスエルシー株式会社）

講師補助：5名



（2）平成18年度第3回東海支部役員会・第41回総会実行委員会

日時：平成18年11月25日（土）

場所：名古屋大学医学部基礎医学別館 会議室

議題： 1) 第41回総会について

2) 支部スケジュール

3) その他

（3）平成18年度第4回東海支部役員会・第41回総会実行委員会

日時：平成18年12月26日（火）

場所：名古屋市立大学

議題： 1) 技術交流会について

2) 第41回総会準備進捗

3) その他

(4) 平成 18 年度第 5 回東海支部役員会・第 41 回総会実行委員会

日時：平成 19 年 1 月 27 日（土）

場所：名古屋市中心企業振興会館

議題： 1) 技術交流会について
2) 第 41 回総会について
3) その他

(5) 第 11 回技術交流会

日時：平成 19 年 1 月 27 日（土）

場所：名古屋市中心企業振興会館

特別講演（第 263 回本部共催）

「動物実験施設の環境統御 — 光触媒技術による抗菌、脱臭効果の検討 —」
小原 徹先生(鹿児島大学フロンティアサイエンス研究推進
センター 室長)

ミニシンポジウム「殺菌・消毒・滅菌の明日を探る！」

「実験動物施設におけるオゾン殺菌について」

釜瀬 幸広先生(石川島芝浦機械株式会社(研究開発室))

「新しい殺菌技術へのアプローチ」

石坂 和彦先生(エルエスジー株式会社)

「過酸化水素ガスと低温プラズマを用いた滅菌法 — 過酸化水
素低温プラズマ滅菌」

相楽 真先生(ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

A P S ジャパン アカデミックマーケティング)

「ホルムアルデヒドガスを使用した新消毒法」

樋口 弘一先生(株式会社メディエート)

☆参加者の感想

1) オリエンタル酵母工業株式会社バイオ事業本部 LA センター

水城 拓二さん

① 光触媒を用いた抗菌・脱臭効果について

現在、多くの消毒には「薬剤」を用いて行っているが、人体に悪影響を及ぼすものも多く、また、取り扱い及び保管についても十分な知識・技術を有する者が必要となってくるが、光触媒技術(光触媒酸化チタン)をもちいることにより、薬剤を用いずに落下細菌、浮遊菌、付着菌を低減させることができる事については、魅力的である。

また、塗布後は強く擦ったりしなければ半永久的に効果の持続が期待される

ため、ランニングコストを削減できる点についても魅力的である。

一方で、夜間には光量が足りずに従来通りの効果が期待できない点、また、光量を得るためのブラックライトの使用については、動物への明暗サイクルの影響等が考えられるため、すぐに光触媒技術を取り入れる事は困難だと感じる。

しかし、光触媒を用いた幾つかの方法を組み合わせることができれば、かなりの効果が期待できるのではないかと感じている。

② 過酸化水素ガス・低温プラズマ・ホルムアルデヒドガスを用いた消毒法(滅菌法)

現在、気相殺菌ではEOGが多く用いられているが、無色・無臭でまた人体への影響が大きいことから上記の消毒方法を紹介頂いたが、どの消毒方法においても大量の滅菌物を対象とすると、内部への浸透性に若干の難があるように感じた。また、動物飼育施設では直接動物に触れるものが多く、実際に飼育ケージ等を滅菌の対象物とすると、人体への影響は抑えられるが、動物には影響を与えることが予想されるように感じた。

また、「法的な規制は無い」とされているが実際に使用するとメンテナンスが当然必要となり、その費用及び頻度についてはやはり気になる点だと感じた。

以上のことを纏めると、どの消毒方法についても利点はかなりあるように感じるが、滅菌対象物には通気性の悪いもの、また、一度に大量の滅菌物を処理するとなると若干不向きな点もあると感じた。

以上

2) 三共株式会社, 安全性研究所 金原保弘さん

今回の技術交流会では、実験動物技術者として非常に興味のある、殺菌・消毒および滅菌がテーマでした。最初に特別講演として小原 徹先生から今後需要が拡大すると思われる光触媒のご講演がなされ、光触媒の抗菌原理、光触媒技術を利用した器具による、小動物飼育中のケージ内臭気物質の測定、ブラックライトを用いた実験などが紹介されました。我々では、実験できないような技術であり大変興味深く聞かさせていただきました。また、ミニシンポジウムでは、滅菌および消毒機器のメーカー4社を招いて、滅菌原理や製品の紹介がされました。一度に4社、それぞれの滅菌・消毒方法のメリットやコストおよび注意事項等の話を聞くことができ、これも大変有意義な会でありました。滅菌法については、EOG滅菌の使用が難しくなり、ホルマリン滅菌に頼っているのが現状であるため、他の滅菌法を備えておく上で、貴重な情報を与えていただきました。なお、シンポジウム形式で実施されたのも、共通の問題点に対する対応の比較が明瞭でたいへん参考になりました。交流会の懇親会では、小原 徹先生の朗らかなお人柄に触れることができ、とても感激いたしました。以上、私に

とって交流会は大変充実した時間となりました。

（６）平成 18 年度第 6 回東海支部役員会・第 41 回総会実行委員会

日時：平成 19 年 3 月 17 日（土）

場所：名古屋市立大学

議題： 1）第 33 回東海支部総会について

2）第 41 回総会準備進捗

3）その他

3. その他

（１）賛助企業紹介

今年度、以下の各企業より賛助賜りました。厚く御礼申し上げます。

エーザイ株式会社、株式会社サンブラネット、中部科学資材株式会社、
日本エスエルシー株式会社、株式会社美濃ラボ

（3 月 20 日現在・五十音順）

（２）東海支部ホームページの案内

東海支部ではホームページを開設いたしております。支部情報など掲載
していきたいと思っておりますのでぜひアクセスをお願いいたします。

41 回総会情報なども順次掲載していきますのでご確認をお願いいたします。

アドレスは <http://jaeat-tokai.hp.infoseek.co.jp/> です。



Japanese Association for Experimental Animal Technologists TOUKAI-branch

＜東海支部事務局＞

〒501-6195 岐阜県各務原市川島竹早町 1

エーザイ(株)安全性研究所川島研究室内（担当：森 郁夫）

T E L : 0586-89-4722 F A X : 0586-89-5482

e-mail : i-mori@hhc.eisai.co.jp

2007 年 4 月 No. 26 発行者：小木曾 昇

発行所：日本実験動物技術者協会東海支部